

# 東京栄養宣言(コンパクト)(骨子)

- 健康で生産的な生活には良好な栄養が必要。誰一人として取り残されてはならない。栄養は個人の健康と福祉の基礎であり、持続可能な開発と経済成長の基盤。
- 多くの国が「栄養不良の二重負荷」に苦しむ。新型コロナにより、子どもの栄養不良が増加。
- 健康な食事と栄養改善への公平なアクセス達成に向けて団結する。2030年までに栄養不良を終わらせるため、以下5つのテーマにわたって栄養に関する更なる行動をとることにコミットする。

## 1. (健康)栄養のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)への統合

保健システム強化が栄養不良改善に不可欠。UHC達成は栄養不良を終わらせるために最も重要。UHCにおける栄養の主流化に向け、質が高く、手頃な栄養サービスの提供を視野に、保健システム強化のための行動を取ることによりコミット。

## 2. (食)健康的な食事の推進と持続可能な食料システムの構築

栄養を確保する強固な食料システムを構築する必要がある。栄養価の高い食品へのアクセス改善にコミット。食料システムは、気候に配慮した投資の拡大や科学技術等の活用を通じ、気候変動に適応すべき。

## 3. (強靱性)脆弱な状況や紛争下における栄養不良に対する効果的な取組

世界の飢餓の60%が脆弱性や紛争に影響された地域で発生。良好な栄養は人々とコミュニティの存続の中核。栄養に加え、保健、社会保障、水と衛生、教育、農業等の強靱なシステムが必要不可欠。

## 4. (説明責任)データに基づく説明責任の促進

コミットメントをモニターし、更なる行動を促進するため、栄養説明責任フレームワークを立ち上げ。透明性の向上と、データに基づく説明責任の強化にコミット。

## 5. (財源)栄養の財源への新たな投資の動員

栄養への投資が重要。国内外の資金による持続可能な方法での資金調達が必要。新たな資金パートナーや民間資金投資、革新的資金調達を含む全ての行動を歓迎。

⇒多様なステークホルダーとパートナーによる大胆な新しいコミットメントを歓迎。アドバイザリーグループの包摂性を歓迎。次回栄養サミットへの期待を表明。